

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【公開番号】特開 2017-205929 (P2017-205929A)

【公開日】平成 29 年 11 月 24 日 (2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報 2017-045

【出願番号】特願 2016-99322 (P2016-99322)

【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 6 5 H 3/06 (2006.01)

B 6 5 H 7/06 (2006.01)

B 4 1 J 29/42 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z

B 6 5 H 3/06 Z

B 6 5 H 7/06

B 4 1 J 29/42 F

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 9 日 (2019.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

装着した用紙カセットから用紙を搬送して印刷する印刷装置であって、
前記用紙カセットの着脱を検知する着脱検知部と、
前記用紙を検知する搬送不良検知部と、
前記着脱検知部により前記用紙カセットの装着を検知した後、一枚目の前記用紙の搬送で前記搬送不良検知部により前記用紙を検知しなかった場合、前記用紙カセットに関わる操作を促す報知制御を行う印刷制御部と、を有することを特徴とする印刷装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、
更に、前記着脱検知部により前記用紙カセットの装着を検知した後、搬送枚数をカウントする搬送枚数カウンターを備え、
前記搬送枚数カウンターの値がゼロである時に、前記印刷制御部は、前記着脱検知部により前記用紙カセットの装着を検知した後の一枚目の前記用紙の搬送であると判断することを特徴とする印刷装置。

【請求項 3】

請求項 1 あるいは 2 において、
前記用紙の搬送路において、前記搬送不良検知部により前記用紙を検知しないことで、前記印刷制御部は、前記用紙の搬送不良と判断することを特徴とする印刷装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項において、
前記印刷制御部は、少なくとも、前記用紙カセットの脱着操作、又は、前記用紙カセッ

トに収容する前記用紙を収容位置に戻す操作、のいずれかを促す報知制御を行うことを特徴とする印刷装置。

【請求項 5】

用紙カセットの着脱を検知する着脱検知部と、
用紙を検知する搬送不良検知部と、を備え、
装着した前記用紙カセットから前記用紙を搬送して印刷する印刷装置の制御方法であって、
前記着脱検知部により前記用紙カセットの装着を検知した後、一枚目の前記用紙の搬送で前記搬送不良検知部により前記用紙を検知しなかった場合に、前記用紙カセットに関わる操作を促す報知を行うことを特徴とする印刷装置の制御方法。